

## 2. ライブ

マーケティング論基礎A・B
リーダーシップゼミナールI (春学期)
留学事前演習
米文学概論2

## マーケティング論A・B

担当教員	池田 信寛
対象	経営学部経営学科 2,3,4
受講者数	約80名

授業の概要	学生と対話しながら、当該科目の内容理解を深めている。
ツール	<input type="checkbox"/> WebClass <input type="checkbox"/> Webex <input checked="" type="checkbox"/> Zoom <input type="checkbox"/> Mediasite <input type="checkbox"/> YouTube <input type="checkbox"/> LINE <input type="checkbox"/> その他()
ある！コマの授業プラン	○導入～事前予習の内容についての質疑応答、 ○講義～学生が分からないという箇所について説明し、理解できたかを反応で見る。 ○その他～学習の上での悩みなどを聞き解決案を探す。
工夫した点	1. チャット機能を使って、メッセージを教師（ホスト）のみに見えるように送れるため、他学生の目を気にせず気楽に発言できるため、質疑応答が盛んになる。 2. 反応ボタンで、意志を示せるため、メッセージ以外でも学生の反応がよく分かるようになる。
今後の改善点	

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ
チャット機能をどんどん活用して、先生にどんどん質問し意見を言いましょう。

## リーダーシップゼミナールⅠ(春学期)

担当教員	田上 正範
対象	基盤教育機構主体的学び科目 1,2,3,4
受講者数	12名

授業の概要	リーダーシップを身に着ける土台づくりを行う。セミナー作りなどを通して、自己と向き合いながら他者と協働し、得た知識を「使う」段階への発展を目指す。グループワークやディスカッション、プレゼンテーションなどを行う。
ツール	<input type="checkbox"/> WebClass <input checked="" type="checkbox"/> Webex <input type="checkbox"/> Zoom <input type="checkbox"/> Mediasite <input type="checkbox"/> YouTube <input type="checkbox"/> LINE <input type="checkbox"/> その他()
ある1コマの授業プラン	<p>○導入 前回授業の振り返り、今日の授業構成と目標</p> <p>○講義 今日の授業内容についての解説</p> <p>○まとめ 質疑・意見交換、フィードバック</p>
工夫した点	複数台のパソコンを用意することで、複数に分かれたグループワークの様子をリアルタイムで観察することができる。
今後の改善点	複数台のパソコンを準備するための手間と端末の総重量を改善するため、iPad やスマートフォン等の活用を検討してみたい。

### これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ

取り組むまでの作業量は増えますが、取り組んだ後に想定外の発見もあります。

## 留学事前演習

担当教員	原 めぐみ
対象	国際教養学部国際教養学科 1,2,3,4
受講者数	42

授業の概要	Spring Session (短期留学) の事前学習を行う。現地での生活を念頭に、基本的な英語表現のトレーニングを行う。また、英語で相手とコミュニケーションをするトレーニングをする。フィリピンおよびオーストラリアの地理、歴史、通貨、交通など、現地での生活のための基本的な情報を収集する。渡航に関する事務的な作業も行う。
ツール	✓ WebClass □ Webex ✓ Zoom □ Mediasite □ YouTube □ LINE □ その他()
ある1コマの授業プラン	<p>導入</p> <p>Kahoot を使いその授業のトピックを導入する。</p> <p>活動①</p> <p>その授業のトピックについてグループプレゼンテーションを行う。</p> <p>活動②</p> <p>留学先に関する個人研究についてプレゼンテーションを行う</p> <p>活動③</p> <p>その授業のトピックに関する英語表現を使ってグループでオリジナルの会話を作る (ブレイクアウトルームを使用)</p> <p>まとめ ミニツツペーパーを提出</p>
工夫した点	<p>教育用のサイトやアプリ (Kahoot、Flipgrid、Edpuzzle) を使用している。</p> <p>Kahoot は個人対抗の Quiz を行い順位を決めることができる。授業の最初あるいは最後に行うことで出席や理解度を確認できる。</p> <p>Flipgrid は学生が作成した動画をアップロードでき、クラス内のメンバーの動画にコメントすることができる。(この授業では日本食を実際に作りながらその作り方を英語で説明する動画を作成させた)</p> <p>Ezpuzzle は、オンラインビデオ (YouTube 等) に問題を追加することができる。</p>
今後の改善点	ミニツツペーパーを毎回提出させているが、今後はその評価をルーブリックを使用してやっていきたい

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ

## 米文学概論2

担当教員	増崎 恒
対象	国際教養学部国際教養学科 2,3,4
受講者数	120名

授業の概要	19世紀後半から20世紀初頭にかけてのリアリズム文学とモダニズム文学の特徴を概説し、その時代の代表的な米文学作品を取り上げて考察を行う。
ツール	<input type="checkbox"/> WebClass <input checked="" type="checkbox"/> Webex <input type="checkbox"/> Zoom <input type="checkbox"/> Mediasite <input type="checkbox"/> YouTube <input type="checkbox"/> LINE <input type="checkbox"/> その他()
ある1コマの授業プラン	<p>導入</p> <p>事前学習をまとめたものを呈示し、教員が簡単なコメントと解説を加える</p> <p>講義</p> <p>本時で取り上げる内容を補足的に説明(学生は事前に教科書と補助プリントを読んできていることになっている)</p> <p>課題とまとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本時で取り上げた作家や作品についての課題に時間内に取り組ませる</li> <li>2. 本時で取り上げた作家や作品についての小テストに時間内に取り組ませる</li> </ol>
工夫した点	授業の第1回目の前に授業補助プリントと使用する文学作品の抜粋を秋学期分すべて配信し、毎回「次回の授業で取り上げる作家作品について短くまとめて」チャットに投稿するように指示している。その内容をまとめて、毎時間の授業の最初に学生が作った本時の授業の内容のまとめとして呈示し、授業を学生主体で進められるように意識している。
今後の改善点	動画教材を取り入れることで授業にメリハリを付けたい。現時点では、教員が資料を呈示しながら一方的に説明しているだけなので。授業を前半と後半に分けるなどして、学生に課題のフィードバックを教員がライブ配信で直接行えるような授業プランも採用したい。現時点では、時間が来ると解説が見られるようにしているが、学生のほとんどが解説を開いていないので。

### これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ

学生全員が(WiFiやPC環境等により)ライブ配信に参加するわけではないため、公平を期すためにライブ配信に出てきていなくても課題に取り組めるように入念に毎時間の内容の説明や課題のヒント等を毎時間配信する必要がある。また、学生がネット環境であっても調べることができないような「まとめテスト」を作る必要がある。持ち込み可や不可など、オンライン授業では意味を成さないため。学生間の答えのSNSでのやり取りも同様である。